

施策評価シート（令和2年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域で支えあう体制の構築	評価者	健康福祉部長			
施策内容	人口減少・少子高齢化の進展により、地域本来の支えあい機能が薄れる中、社会的弱者となりうる高齢者や障がい者が健やかに地域で自立した生活を送れるよう、多世代がかかわることで、地域で支えあう体制を構築します。					
主な事業	予算等事業名	行政評価結果	KPI達成への有効性	説明		
	1 地域介護予防活動支援事業	適当	有効とは言えない	コロナにより、地域の通いの場が予定どおり実施できなかった。		
	2 生活支援体制整備事業	適当	有効とは言えない	コロナにより、協議体の話し合いが予定どおり実施できなかった。		
	3 認知症総合支援事業	適当	有効だった	コロナで縮小したが、認知症サポーター養成講座を実施した。		
	4 在宅障がい者援護事業	良好	有効とは言えない	コロナにより、手話講習会を一部しか実施できなかった。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の通いの場の参加者（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	13,617 (7,000) ※（ ）はコロナ想定	3,500	5,000	7,500	C
	実績	2,253				
	分析	コロナにより地域の通いの場の中止が相次ぎ、計画値を大幅に下回っている。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	65歳以上の要介護認定者の割合				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	17.6	16.0	16.1	16.7	B
	実績	16.7				
	分析	計画値を上回ったが、基準値（県の値）よりは低い状況を維持している。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案				
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	認知症サポーター養成講座受講者数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	109	30	200	200	A
	実績	35				
	分析	計画値を達成しており、次年度以降の計画値増加への取り組みを進める。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案				
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	手話通訳者養成講習会の参加者数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	22(10) ※（ ）はコロナ想定	16	18	20	-
	実績	コロナに伴い中止				
	分析	コロナにより手話通訳者養成講習会を一部しか実施できなかったため実績値がない。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	・コロナ禍において地域の通いの場や協議体による話し合いが中止される中、地域の方々を通じ対象者に健康増進のチラシを配布するなど、感染対策に留意しながら地域と連携し可能な活動に取り組んだ。			
	課題	①コロナにより人々が集う従来の事業実施が困難となった。 ②高齢化の進展に伴い認知症対策が重要となっている。			
	改善点 (課題番号に対応)	①感染症まん延下における安否確認や健康維持の手法を検討する。 ②認知症予防を推進するとともに、認知症への理解を促進するよう事業展開を図る。			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の通いの場等の高齢者施策については、参加しやすい環境を整えることが重要である。坂や階段といった会場の構造上の問題の解決のみならず、参加の動機づけなども工夫する必要がある。また、年齢問わず多世代間の交流は大切になるため、町の施設を活用した交流イベント等も有効であると考えられる。</li> <li>●新型コロナ禍で外出が困難な状況も考えられるため、デジタルデバイドの解消を図りつつ、地域でのオンラインの活用を促進する取り組みについても検討する必要がある。</li> </ul>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	地域介護予防活動支援事業 (担当課：高齢介護課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症まん延下における健康維持増進の手法を検討する。</li> <li>・地域の通いの場の会場の構造上の問題の解決のみならず、参加の動機づけなども工夫する。</li> <li>・多世代間の交流を図るため、地域施設を活用した交流イベント等を検討する。</li> </ul>
	2	生活支援体制整備事業 (担当課：高齢介護課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉を理解してもらう人を増やし、町民や多様な主体が「我が事」として、人・資源が世代や分野を超えてつながり、地域をもとに作っていく生活支援を推進する体制の整備を図る。</li> <li>・感染症まん延下における安否確認の手法を検討する。</li> <li>・デジタルデバイドの解消を図りつつ、地域でのオンラインの活用を促進する取り組みについても検討する。</li> </ul>
	3	認知症総合支援事業 (担当課：高齢介護課)	拡大・拡充	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防を推進するとともに、認知症への理解を促進するよう事業展開を図る。</li> </ul>
	4	在宅障がい者援護事業 (担当課：福祉保険課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者への理解を深めるとともに、障がい者の社会参加や地域で自立した生活を送れるよう事業展開を図る。</li> </ul>